

宮崎県では、このような教員を求めています！

- ◎ 子どもに対する愛情と教育に対する情熱・使命感をもち、子どもとの信頼関係を築くことができる。【愛情と情熱・使命感】
- ◎ 分かりやすい授業を行い、子どもに確かな学力を育成するなど高い専門性を身に付けている。【高い専門性】
- ◎ 社会人としての幅広い教養と良識や倫理観、心の豊かさを身に付けている。【幅広い社会性、倫理観、人間性】
- ◎ 絶えず学び続け、自らの資質・能力を高める。【学び続ける姿勢】

宮崎県の先生を目指す皆さんへ

宮崎県教育委員会教育長

学校の先生は、宮崎や日本、さらには世界の将来を担う子どもたちの夢の実現を支援し、社会を生き抜く力を育みながら、その可能性を未来に広げ、繋げていくやりがいに満ちた職業です。また、郷土に対する愛着と誇りを持ち、豊かな社会性やたくましく生きる力、新しい価値を創造する知恵、変化や困難に挑戦する行動力を身に付けた未来の宮崎を担う人財を育む期待も高まっています。

このような中、本県では宮崎県教育振興基本計画に示す「いのちを大切に教育の推進」「地域と学校の連携・協働による多様な活動の充実」「学校における働き方改革の推進」を重点的に取り組んでいます。

共に「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」に取り組んでいきましょう。

1 目的

宮崎県公立学校教員の採用候補者を選考するため実施します。

2 今年度の主な変更点（詳細は、この実施要項で確認をしてください。）

(1) 第一次選考試験の会場について

県外会場は、東京会場、大阪会場、福岡会場とします。

(2) 加点制度について

ア 新たに次の加点項目を追加します。

- ・ 中学校・高等学校教諭等英語を受験する者で、英検1級などのC E F R C 1相当（文部科学省の示したC E F R対照表による）以上の英語力を有する者
- ・ 情報処理推進機構（I P A）が実施する情報処理技術者試験・基本情報技術者試験合格者又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者
- ・ 高等学校教諭等（「情報」を除く）を受験する者で、「情報」の免許状を所有する者
- ・ 特別支援学校教諭等を受験する者で、視覚障がい又は聴覚障がいに関する教育の領域の免許状を所有する者

イ 加点する点数を変更します。

(3) 第二次選考試験について

ア I C Tを活用した試験を実施します。

イ 全ての受験区分、教科（科目）等の模擬授業の「実施教科、領域、単元名等」を、第二次選考試験受験者へ事前にお知らせします。

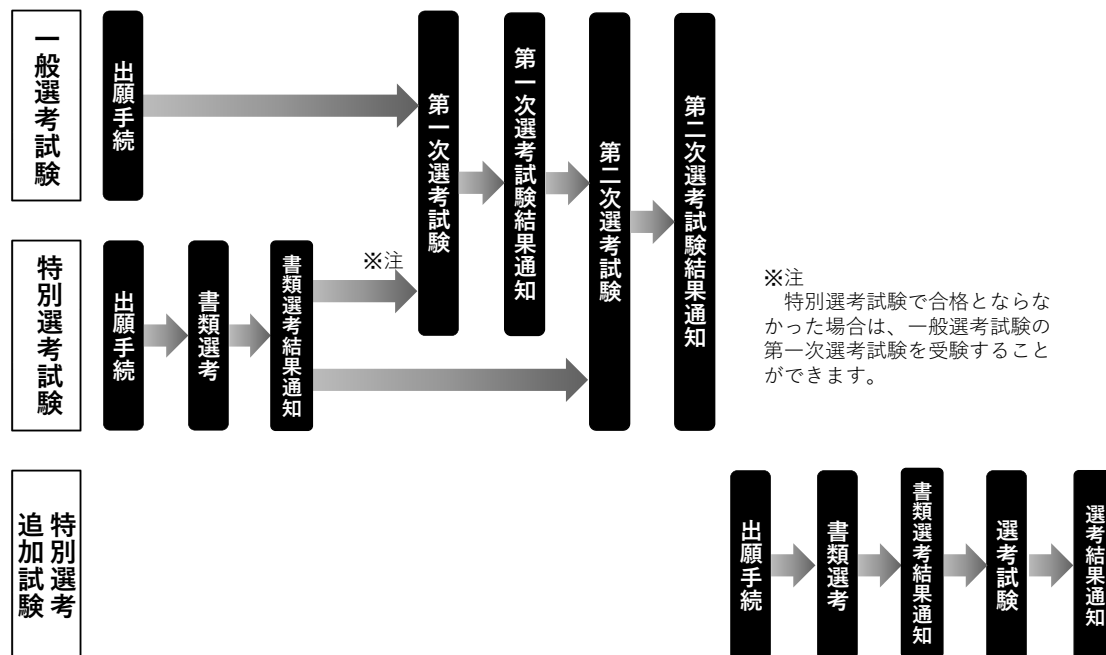
ウ 集団討論を廃止し、新たにグループワークによる試験を実施します。

(4) 特別選考試験について

ア 障がいのある者を対象とした特別選考試験においては、「身体障害者手帳」に加え、「精神障害者保健福祉手帳」、「療育手帳」の所有者も対象とします。

イ 大学卒業予定者を対象とした特別選考試験においては、「小学校教諭等」「中学校教諭等 国語」に加え、「高等学校教諭等工業」も対象とします。

3 一般選考試験、特別選考試験及び特別選考追加試験の実施概要



4 申込受付期間（一般選考試験、特別選考試験）

一般選考試験及び特別選考試験における申込受付期間は、「出願登録期間」と「願書提出期間」に分けて、以下の表のとおりとします。出願登録及び願書提出は、時間的に余裕をもって登録、提出を行ってください。提出書類の不足や不備（写真等）がある場合、受付できないことがあります。

期間 選考試験種	出願登録期間	願書提出期間
一般選考試験	令和4年3月22日（火）～ 令和4年5月9日（月）正午	令和4年5月13日（金）～ 令和4年5月23日（月）当日消印有効
特別選考試験	令和4年3月22日（火）～ 令和4年4月21日（木）正午	令和4年4月28日（木）～ 令和4年5月13日（金）当日消印有効

- 宮崎県電子申請システムにアクセスし、必要事項を出願登録期間内に入力してください。
※ 出願登録で出願手続完了ではありません。必ず願書等を提出してください。出願登録のみで願書の提出がない場合は、出願とみなすことはできません。
- 電子申請システムからダウンロードした必要書類を印刷し、願書提出期間内に提出してください。
※ 詳細は、13 出願手続等を参照してください。
- 出願登録期間内における入力は、随時可能です。
ただし、夜間、システムメンテナンスで停止することがあります。
- 提出については、郵送（簡易書留）とします。

5 受験資格

次の各号の全てに該当する者としてします。

- 地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）、平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とする者以外）に該当しない者
- 受験区分（中学校・高等学校・特別支援学校教諭等）にあつては受験教科（科目）等の普通免許状を所有する者
 - 特別支援学校教諭等知的他においては、「知的障がい者に関する教育の領域」、「肢体不自由者に関する教育の領域」、「病弱者に関する教育の領域」のうち1つ以上の特別支援学校普通免許状と、小学校・中学校・高等学校教諭のいずれかの普通免許状を所有する者としてします。
 - 特別支援学校教諭等において、盲学校普通免許状、聾学校普通免許状、養護学校普通免許状を所有している者は、それぞれ、「視覚障がい者に関する教育の領域」、「聴覚障がい者に関する教育の領域」、「知的障がい者に関する教育の領域」、「肢体不自由者に関する教育の領域」・「病弱者に関する教育の領域」に係る特別支援学校普通免許状を所有していることとみなします。
- 免許状を所有する者については、令和5年3月末日までに取得見込の者を含みます。

ア 教員としての在籍年数と単位修得により、免許状を取得見込の者は、令和5年3月末日までに取得できるかどうかについて、免許申請を考えている都道府県の教員免許担当課にお尋ねください。非常勤講師の場合は、日数の計算が異なる場合があります。

イ 栄養教諭免許状取得見込の者は、令和4年度中に栄養士免許を取得し、その免許を基礎として栄養教諭免許状を取得しようとする者を含みます。

※ ア、イの該当者は事前に教職員課管理担当（0985-26-7240）に相談してください。
- 受験年齢に関しては、昭和38年4月2日以降出生の者としてします。

(5) 次の受験区分については、以下の免許等を所有する者（取得見込の者を含む）とします。

受験区分	免 許 等
小学校教諭等英語	小学校普通免許状及び中学校又は高等学校の英語の普通免許状を所有する者
小学校教諭等特別支援	小学校普通免許状及び特別支援学校普通免許状を所有する者
小学校教諭等体育	小学校普通免許状及び中学校又は高等学校の保健体育の普通免許状を所有する者
高等学校教諭等水産（漁業） ※注 1	高等学校水産又は高等学校商船の普通免許状を所有し、かつ、3級海技士（航海）の海技免状を所有する者
高等学校教諭等水産（機関） ※注 1	高等学校水産又は高等学校商船の普通免許状を所有し、かつ、3級海技士（機関）の海技免状を所有する者
特別支援学校教諭等音楽	5 受験資格の(2)に該当する特別支援学校普通免許状及び中学校又は高等学校の音楽の普通免許状を所有する者
特別支援学校教諭等美術	5 受験資格の(2)に該当する特別支援学校普通免許状及び中学校又は高等学校の美術の普通免許状を所有する者
小学校教諭等と中学校教諭等の併願を希望する者	小学校普通免許状及び中学校普通免許状(受験する教科)を所有する者
小学校教諭等と特別支援学校教諭等の併願を希望する者	小学校普通免許状及び 5 受験資格の(2)に該当する特別支援学校普通免許状を所有する者

※注 1 「社会人を対象とした特別選考試験 B」の場合は、上記の限りではありません。

6 選考区分、受験区分、教科（科目）等及び採用予定者数

(1) 一般選考試験

受験区分	教科（科目）等及び採用予定者数	計
小学校教諭等	全教科 135 名	155 名 程度
	英語 5 名、特別支援 10 名、体育 5 名	
中学校教諭等	国語 15 名、社会 14 名、数学 16 名、理科 15 名、音楽 5 名、美術 2 名、保健体育 10 名、技術 3 名、家庭 2 名、英語 11 名	93 名 程度
高等学校教諭等	国語 5 名、地理歴史(世界史 1 名、日本史 3 名、地理 2 名)、公民 2 名、数学 2 名、理科(物理 1 名、生物 3 名、地学 1 名)、保健体育 1 名、家庭 2 名、英語 5 名、情報 2 名、農業(食品 2 名、栽培 3 名)、工業(機械 5 名、電気・電子 3 名、インテリア 1 名、化学工業 1 名、土木 1 名、建築 1 名)、商業 4 名、水産(漁業 1 名、機関 1 名)	53 名 程度
特別支援学校教諭等	(知的障がい者に関する教育の領域) 知的他 37 名 (肢体不自由者に関する教育の領域) (病弱者に関する教育の領域)	43 名 程度
	音楽 3 名、美術 3 名	
養護教諭		20 名程度
栄養教諭		1 名程度

(2) 特別選考試験（詳細は、10 特別選考試験を参照してください。）

特別選考の名称	採用予定者数
【スポーツの分野〔水泳(水球)、サッカー、テニス、ボート、バレーボール、バスケットボール、セーリング、ハンドボール、卓球、馬術、フェンシング、バドミントン、ラグビーフットボール、アーチェリー、なぎなた〕に係る特別選考試験】	一般選考試験の採用予定者数の外数とする。 (6 名程度)
【芸術の分野に係る特別選考試験】	
【社会人を対象とした特別選考試験 A】	一般選考試験の採用予定者数の内数とする。
【社会人を対象とした特別選考試験 B】	
【障がいのある者を対象とした特別選考試験】	
【他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験】	
【大学卒業予定者を対象とした特別選考試験】	
【教職大学院修了予定者を対象とした特別選考試験】	

【(1)、(2)に関する留意事項】

ア 採用者数はあくまでも予定であり、確定したものではありません。

- イ 「教諭等」には、任用の期限を付さない常勤講師を含んでおり、日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師として任用します。
- ウ 採用後の人事異動により、採用時に配置された学校種とは異なる校種へ異動となる場合があります。
- エ 原則として、小学校教諭等英語の採用者は小学校での通常の学級担任として、2年間の初期研修を受講することになります。その後、専科教員（その教科のみ教える教員）として勤務することもあります。
- オ 原則として、小学校教諭等特別支援の採用者は小学校での通常の学級担任として、2年間の初期研修を受講することになります。その後、主に特別支援教育に専門的に携わることになります。
- カ 原則として、小学校教諭等体育の採用者は小学校での通常の学級担任として、2年間の初期研修を受講することになります。その後、主に体育に専門的に携わることになります。
- キ 特別支援学校教諭等音楽・美術の採用者は、専科教員（その教科のみ教える教員）として採用するものではありません。

7 併願受験

- (1) 小学校教諭等全教科と小学校教諭等英語の併願について
- ア 小学校普通免許状及び中学校又は高等学校の英語の普通免許状を所有する者（取得見込の者を含む）は、小学校教諭等全教科と小学校教諭等英語を併願することができます。ただし、第1希望は小学校教諭等英語とします。
- イ 第一次選考試験は、小学校教諭等の筆答試験「専門（小）」に加え、小学校教諭等英語の筆答試験「専門（リスニング）」を行います。第二次選考試験は、小学校教諭等全教科と同じ内容とします。
- (2) 小学校教諭等全教科と小学校教諭等特別支援の併願について
- ア 小学校普通免許状及び **5 受験資格**の(2)に該当する特別支援学校普通免許状を所有する者（取得見込の者を含む）は、小学校教諭等全教科と小学校教諭等特別支援を併願することができます。ただし、第1希望は小学校教諭等特別支援とします。
- イ 第一次選考試験は、小学校教諭等の筆答試験「専門（小）」に加え、小学校教諭等特別支援の筆答試験「専門（小特）」を行います。第二次選考試験は、小学校教諭等全教科と同じ内容とします。
- (3) 小学校教諭等全教科と小学校教諭等体育の併願について
- ア 小学校普通免許状及び中学校又は高等学校の保健体育の普通免許状を所有する者（取得見込の者を含む）は、小学校教諭等全教科と小学校教諭等体育を併願することができます。ただし、第1希望は小学校教諭等体育とします。
- イ 第一次選考試験は、小学校教諭等の筆答試験「専門（小）」に加え、小学校教諭等体育の「実技」を行います。第二次選考試験は、小学校教諭等全教科と同じ内容とします。
- (4) 小学校教諭等と中学校教諭等の併願、小学校教諭等と特別支援学校教諭等の併願について
- ア 小学校普通免許状及び中学校普通免許状を所有する者（取得見込みの者を含む）は、小学校教諭等と中学校教諭等を併願することができます。希望する場合は、第1希望を中学校教諭等、第2希望を小学校教諭等とします。ただし、第2希望を小学校教諭等英語とする場合は第1希望は中学校教諭等英語であること、第2希望を小学校教諭等体育とする場合は第1希望は中学校教諭等保健体育であることとします。第一次選考試験において、中学校教諭等の筆答試験「専門（中）」（該当する教科）及び小学校教諭等の筆答試験「専門（小）」の両方を受験する必要があります。
- イ 小学校普通免許状及び **5 受験資格**の(2)に該当する特別支援学校普通免許状を所有する者（取得見込の者を含む）は、小学校教諭等と特別支援学校教諭等を併願することができます。希望する場合は、第1希望を特別支援学校教諭等、第2希望を小学校教諭等全教科又は小学校教諭等特別支援とします。
- ウ 第一次選考試験で第1希望と第2希望の両方に合格した場合は、第二次選考試験において、第1希望の受験区分のみで「模擬授業」を受験することとし、第1希望の得点により第2希望の可否を判定します。なお、簡単な英会話を実施します。

【併願が可能な受験区分】

第1希望 \ 第2希望	小学校教諭等			
	全教科	英語	特別支援	体育
小学校教諭等英語	○			
小学校教諭等特別支援				
小学校教諭等体育				
中学校教諭等	○	○ (中英のみ)		○ (中体のみ)
特別支援学校教諭等	○		○	

※ ○は併願可能な受験区分です。

※ 併願は第2希望までとなります。

(例：第1希望～中学校教諭等国語、第2希望～小学校教諭等全教科)

8 第一次選考試験

- (1) 期 日
令和4年7月9日（土）・10日（日）

(2) 試験会場

地域	会 場	所 在 地
宮崎会場	宮崎大宮高等学校	宮崎市神宮東1－3－10
	宮崎北高等学校	宮崎市新名爪4567
	宮崎県教育研修センター	宮崎市阿波岐原町前浜4276－729
県外会場	東京会場 3×3 Lab Future (さんさんらぼフューチャー)	千代田区大手町1－1－2
	大阪会場 大阪駅前第1ビル(11階)	大阪市北区梅田1－3－1
	福岡会場 中村学園大学	福岡市城南区別府5－7－1

ア 県外会場で受験できるのは、小学校教諭等全教科・特別支援、中学校教諭等国語・社会・数学・理科、特別支援学校教諭等知的他、養護教諭、栄養教諭となります。高等学校教諭等については、高等学校教諭等保健体育・家庭・英語以外の教科（科目）は受験できます。ただし、希望に沿えない場合があります。決定した受験会場については、受験票で確認をしてください。

イ 会場への連絡は原則としてできません。当日に緊急事態があり、会場への連絡を必要とする場合には、宮崎大宮高等学校（TEL：0985-22-5191）にお願いします。

ウ 台風等により試験実施が困難となった場合は、全会場の日程や開始時刻を変更することがあります。その場合、原則として、試験前日の午後に県ホームページ等に情報を掲載する予定ですので、確認をしてください。ただし、急な自然災害等が起きた場合は、試験当日に情報を掲載する場合もあります。

(3) 試験内容

ア 筆答試験・・・「教職教養」の試験及び「専門」の試験を実施します。

(ア) 「教職教養」の試験は、教育関係法規、教育原理、教育心理、特別支援教育、国の教育施策、本県の教育・歴史・文化等に関する事等、教職全般に関する内容（学習指導要領を含む）とします。

(イ) 「専門」の試験については、受験区分の教科（科目）等に関する内容（学習指導要領を含む）とします。

(ウ) 小学校教諭等は全教科に加えて「外国語活動」「外国語科」の領域を出題します。

(エ) 小学校教諭等・中学校教諭等・特別支援学校教諭等については、「道徳科」を出題します。

(オ) 高等学校教諭等地理歴史・理科・工業・農業・水産については、当該科目のほか、同一教科の各科目にわたる内容も出題します。

(カ) 特別支援学校教諭等知的他については、視覚、聴覚にわたる内容も出題するものとし、特別支援学校教諭等音楽・美術については、特別支援学校教諭等知的他と同じ内容とします。

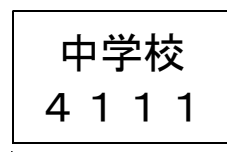
イ 実技試験・・・以下の受験区分で実施します。

受験区分		内 容
中学校教諭等 特別支援学校教諭等	音楽	初見演奏、ピアノ伴奏付歌唱、自由演奏（声楽、ピアノ、管弦打楽器、和楽器の演奏のうち任意の一曲）
中学校教諭等 特別支援学校教諭等	美術	立体・平面作品の制作
小学校教諭等	体育	マット運動、バレーボール、バスケットボール
中学校教諭等 高等学校教諭等	保健体育	マット運動、バレーボール、バスケットボール
中学校教諭等	技術	材料と加工、エネルギー変換、情報の技術に関する内容
中学校教諭等 高等学校教諭等	家庭	衣食住の生活に関する内容

(ア) 小学校教諭等体育、中学校・高等学校教諭等保健体育の受験者は、実技試験当日はトレーニングシャツ（ゼッケン着用）を着用して試験会場にお越しください。

※ 更衣室は準備しておりません。

(イ) 小学校教諭等体育及び中学校・高等学校教諭等保健体育の受験者は、受験番号を確認の上、右図のように受験番号を書いたゼッケンを2枚作製し、トレーニングシャツの前後に糸で縫い付けてください。



23cm

白布に太字・黒字油性ペンで大きくはっきり記入する。

30cm

(ウ) 小学校教諭等体育及び中学校・高等学校教諭等保健体育の内容詳細については、当日、お知らせします。

(エ) 中学校教諭等音楽・美術・技術・家庭、高等学校教諭等家庭、特別支援学校教諭等音楽・美術の内容詳細については、6月末日までに各受験者に別途連絡します。6月末日までに連絡がない場合は、教職員課までお問い合わせください。

(オ) 体育・保健体育を除いて、一次試験に実技がある者は返信用封筒（切手94円を貼付）を別途準備し、願書と一緒に提出してください。

ウ リスニング試験・・・以下の受験区分で英語リスニングを実施します（併願希望者を含む）。

- (ア) 小学校教諭等英語
- (イ) 中学校教諭等英語
- (ウ) 高等学校教諭等英語

(4) 第一次選考試験当日に持参すべきもの等

受験区分	持 参 物
受験者全員	受験票、鉛筆（シャープペンシル可）、定規、コンパス、消しゴム、上履き、靴入れ用ビニール袋等、時計（計算や通信機能があるものは不可）、マスク、健康等に関するチェック票
中学校教諭等音楽・美術・技術・家庭 高等学校教諭等家庭 特別支援学校教諭等音楽・美術	後日、各受験者に別途連絡
高等学校教諭等工業(機械、電気・電子、土木)	電卓（関数機能付き）
高等学校教諭等工業 （化学工業、建築、インテリア）	電卓（関数機能可）
高等学校教諭等商業	電卓（関数機能可）
高等学校教諭等水産(漁業、機関)	電卓（関数機能可）
小学校教諭等体育 中学校教諭等保健体育 高等学校教諭等保健体育	体育館シューズ ※ 実技試験当日は、トレーニングシャツ(ゼッケン着用)を着用して試験会場にお越しください。更衣室は準備しておりません。

(5) 日 程

【1日目 7月9日(土) 宮崎会場】

A…宮崎大宮高校

B…宮崎北高校

C…宮崎県教育研修センター

会場		受験区分		9:00 9:20		10:10 10:25 10:45		12:00 12:15		13:15									
A	小	全	教職教養受験者集合検温	諸注意	教職教養 (50分)	休息	諸注意	専門(小) (90分)	12:30 13:00										
		英							休息・諸注意	専門(小特)									
		特																	
		体							昼食・諸注意		実技								
	中	体 教職教養受験者で中学校専願者	教職教養受験者 で中学校併願者	諸注意	教職教養 (50分)	移動	諸注意	実技											
		体 教職教養受験者で小学校併願者						休息	諸注意	専門(小) (90分)	昼食・諸注意		実技						
		体 教職教養免除者で中学校専願者									12:00~12:30 集合検温		諸注意		実技				
		体 教職教養免除者で小学校併願者									9:30~10:00 集合検温		待機移動		諸注意	専門(小) (90分)	昼食・諸注意		実技
体以外		集合検温									教職教養受験者	教職教養 (50分)		※ 小学校教諭等との併願者は専門(小)を受験					
特	知・音・美																		
B	高	体以外	集合検温	教職教養受験者	諸注意	教職教養 (50分)	移動	諸注意	実技										
		体 教職教養受験者																	
		体 教職教養免除者	12:00~12:30 集合検温						諸注意		実技								
C	養	養	検温 受験者集合	教職教養	諸注意	教職教養 (50分)	休息	諸注意	専門(養・栄) (90分)										
	栄	栄																	
◇ 集合場所・時間について(宮崎会場での受験者)																			
○ 集合場所 … ・宮崎大宮高(家庭科棟前渡り廊下) ・宮崎北高(生徒昇降口前) ・研セ(附属棟前)																			
○ 「教職教養」試験受験者 … 午前8時から午前8時50分までに集合場所で検温を済ませる。																			
○ 「教職教養」試験免除対象者で、「専門(小)」又は「専門(養・栄)」の受験者 … 午前9時30分から午前10時までに集合場所で検温を済ませる。																			
○ 「教職教養」試験免除対象者で、「中学校及び高等学校の保健体育」の受験者 … 正午から午後0時30分までに集合場所で検温を済ませる。																			
※ 午前7時50分以前に敷地内に立ち入らないこと																			

【1日目 7月9日(土) 県外会場】

D…東京会場

E…大阪会場

F…福岡会場

会場		受験区分		9:00 9:20		10:10 10:25 10:45		12:15		
D E F	小	全	教職教養受験者集合検温	諸注意	教職教養 (50分)	休息	諸注意	専門（小） (90分)	12:30 13:00	
		特							休息・諸注意	専門（小特）
	中	国・社・数・理				※ 小学校教諭等との併願者は専門(小)を受験				
	高	体・家・英以外								
	養	養				休息	諸注意	専門（養・栄） (90分)		
	栄	栄								
	特	知				※ 小学校教諭等との併願者は専門(小)を受験				
◇ 集合場所・時間について（東京会場、大阪会場、福岡会場での受験者）										
○ 集合場所 … 東京会場（1階入口）、大阪会場（11階）、福岡会場（2号館入口）※集合後、係員の指示に従って各試験室に移動										
○ 「教職教養」試験受験者 … 午前8時30分から午前8時50分までに集合場所で検温を済ませる。										
○ 「教職教養」試験免除対象者で、「専門(小)」又は「専門(養・栄)」の受験者 … 午前9時30分から午前10時までに集合場所で検温を済ませる。										

【2日目 7月10日（日） 宮崎会場】

A…宮崎大宮高校

B…宮崎北高校

C…宮崎県教育研修センター

会場	受験区分		9:00		9:20	9:30	9:50	10:05	10:50	12:00
A	中	国・社・数・理	検温 受験者集合	諸注意	専門（中）（90分）					
		専門（中）（45分）								
	高	体					専門（高）（45分）			
B	中	音・美・技・家		検温 受験者集合	待機移動	諸注意	専門（中・高） （45分）		昼食・諸注意	実 技
	高	家								
	高	体・家・英以外	検温 受験者集合	諸注意	専門（高） （90分）					
		特			知	専門（特 知音美） （90分）				
		特			音・美					昼食・諸注意
C	小	英	検温 受験者集合	諸注意	専門（リスニング） （30分）		10:15		11:15	
	中	英					諸注意	専門（中・高） （60分）		
	高	英								
◇ 集合場所・時間について（宮崎会場での受験者） ○ 集合場所 … ・宮崎大宮高（家庭科棟前渡り廊下） ・宮崎北高（生徒昇降口前） ・研セ（附属棟前） ○ 「中学校教諭等（音・美・技・家）」、「高等学校教諭等（家）」の受験者 … 午前9時から午前9時30分までに集合場所で検温を済ませる。 ○ 上記以外の受験者 … 午前8時から午前8時50分までに集合場所で検温を済ませる。 ※ 午前7時50分以前に敷地内に立ち入らないこと										

【2日目 7月10日（日） 県外会場】

D…東京会場

E…大阪会場

F…福岡会場

会場	受験区分		9:00 9:20			10:50	
D	中	国・社・数・理	検温 受験者集合	諸 注 意	専門（中）（90分）		
E	高	体・家・英以外			専門（高）（90分）		
F	特	知			専門（特 知）（90分）		
◇ 集合場所・時間について（東京会場、大阪会場、福岡会場での受験者） ○ 集合場所 … 東京会場（1階入口）、大阪会場（11階）、福岡会場（2号館入口）※集合後、係員の指示に従って各試験室に移動 ○ 午前8時30分から午前8時50分までに集合場所で検温を済ませる。							

(6) 第一次選考試験の配点等

ア 評価する観点

(ア) 筆答試験（教職教養及び専門）

○ 教員として必要な教職教養や受験教科等の専門分野について、学習指導要領に則った問題を中心にしながら、国や県の教育施策等に関する内容等も盛り込み、幅広い識見を評価します。

○ 専門的な知識、教員としての能力、適性等を総合的に評価します。

(イ) 実技試験・リスニング

○ 教員として必要な専門的スキル、職務遂行に必要な体力、課題解決への意欲等を評価します。

○ 専門的な知識、教員としての実技に関する能力等を総合的に評価します。

イ 受験区分ごとの配点

(ア) 実技試験・リスニングのない教科（科目）等の配点

内 容	小学校		中学校	高等学校	特別支援校	養護教諭	栄養教諭
	全教科	特別支援					
教職教養	50点	50点	50点	50点	50点	50点	50点
専門（小特以外）	100点	100点	100点	100点	100点	100点	100点
※ 専門（小特）		30点					
合 計	150点	180点	150点	150点	150点	150点	150点

※ 専門（小特）・・・小学校教諭等特別支援の受験区分においては、小学校教諭等の「専門」に加え、小学校における特別支援教育の「専門」を実施します。

(イ) 実技試験・リスニングのある教科（科目）等の配点

内 容	小学校		中学校		高等学校		特別支援校
	英語	体育	音楽・美術・保健・技術・家庭	英語	体育・家庭	英語	音楽・美術
教職教養	50点	50点	50点	50点	50点	50点	50点
専 門	100点	100点	50点	70点	50点	70点	100点
読・リスニング	30点	50点	50点	30点	50点	30点	50点
合 計	180点	200点	150点	150点	150点	150点	200点

ウ 加点制度（特定免許・資格等を所有する者の加点申請制度）

次に示す免許や資格を所有する者には、添付書類を添えて「加点申請」をすることにより、第一次選考試験の各受験区分の選考に際して加点を行います。加点を希望する者は、「令和5年度 特定免許・資格等を所有する者の加点申請書」（様式3）と下表の添付書類を提出してください。

	加点項目	加点対象校種及び加点				添付書類
		小	中	高	特	
①	司書教諭資格を所有する者	4点	4点	4点	4点	修了証明書の写し
②	中学校英語免許状を所有する者又は高等学校英語免許状を所有する者 （見込可、⑧との併用不可）	4点	—	—	—	免許状の写し又は免許状取得見込証明書 （必要に応じて、更新講習証明書）
③	特別支援学校免許状を所有する者 （見込可）	8点	8点	8点	—	
④	小学校免許状を所有する者（見込可）	—	4点	—	—	
⑤	中学校免許状を所有する者（見込可） ※英語を除く	4点	—	—	—	
⑥	「情報」の免許状を所有する者 （見込可）※「情報」を除く	—	—	8点	—	
⑦	視覚障がい又は聴覚障がいに関する教育の領域の免許状を所有する者	—	—	—	4点	実施団体又は資格認定協会が発行する証明書の写し
⑧	英検準1級などのCEFR B2相当（文部科学省の示したCEFR対照表による）以上の英語力を有する者 （②との併用不可）	4点	—	—	—	
⑨	英検1級などのCEFR C1相当（文部科学省の示したCEFR対照表による）以上の英語力を有する者 ※ 英語が対象	—	4点	4点	—	
⑩	情報処理推進機構（IPA）が実施する情報処理技術者試験・基本情報技術者試験合格者又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者	4点	4点	4点	4点	資格証明書（開封無効）又は資格を証明できる書類の写し

※ 免許状は、普通免許状のみとします。

詳細について

- (ア) 各項目ごとに加点を行います。
- (イ) 受験資格となる免許状は加点の対象となりません。(例：小学校教諭等特別支援の受験者に、「特別支援学校教諭免許状を所有する者」の加点は該当しない。等)
ただし、特別支援学校教諭等知的他・音楽・美術の受験者に、「視覚障がい又は聴覚障がいに関する教育の領域の免許状を所有する者」の加点は対象とします。
- (ウ) 併願試験を希望する者は、第1希望と第2希望のそれぞれにおいて加点申請を行ってください。
第2希望の添付書類については、第1希望と重複するものについては提出する必要はありません。
- (エ) 改姓等により証明書等の氏名が現在と異なる場合は、氏名の変更が確認できる書類（戸籍謄本等）も併せて提出してください。
- (オ) 免許状取得見込証明書が取得できない場合には、免許状が取得できる見込みがあることを示す書類として、成績証明書等を提出してください。
- (カ) 添付書類に不備がある場合には、該当する加点項目に対して加点を行いません。(例えば、証明書等の氏名が現在と異なる場合や、更新講習証明書がなく、免許状が有効であることを確認できない場合など)
- (キ) 免許状取得見込証明書や、免許状が取得できる見込みがあることを示す書類の提出者のうち内定通知を受けた者は、「免許状」の写しを令和5年3月23日までに提出してください。
提出できなかった者は採用内定後であっても内定を取り消すことがあります。(免許授与日の関係で、期日までに提出できない者は必ず教職員課まで連絡すること。)
- (ク) 免許状取得見込証明書や、免許状が取得できる見込みがあることを示す書類の提出者のうち内定通知を受けた者で、免許状取得が難しい状況になった者は、令和4年11月末日までに教職員課に必ず連絡を行ってください。（それ以降に同様の状況になった場合も、すぐに連絡を行うこと。）
- (ケ) 虚偽の内容を申請した者は、採用内定後であっても内定を取り消すことがあります。

エ その他

第一次選考試験の得点結果は、第二次選考試験の選考には反映されません。ただし、第二次選考試験の結果が同点の場合は、第一次選考試験の得点結果を第二次選考試験の選考に反映します。

(7) 第一次選考試験実施上の注意事項等

- ア 特別な場合を除いて、受験しなければならない試験を欠席した場合は、不合格とします。
- イ 筆答試験途中での退席は、原則として認めません。
- ウ 試験中は会場から外出できませんので、必要に応じて飲み物や昼食等の準備をしてください。
- エ 試験会場では、携帯電話、パソコン、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器は、使用できません。
- オ 服装については、クールビズとします。上着、ネクタイ等を着用する必要はありません。
- カ 試験会場や近隣の公的機関の駐車場は使用できません。公共の交通機関を利用してください。
送迎の場合、会場周辺での乗降は、交通渋滞のおそれがあるため避けてください。
- キ 送迎目的で商業施設等の駐車場を使用することがないようにしてください。

(8) 受験上の一部試験免除（※ 以下の要件を満たす者のうち、免除を希望する者）

免除を希望する者は、一部試験免除による受験申請書（様式1）と証明書等を提出ください。

対 象 者	免除内容
【臨時的任用講師等】 ○ 出願時の前の年度までの5年間のうち、通算24月以上、本県において、臨時的任用講師、会計年度任用講師又は養護助教諭としての勤務経験がある者。 ※ なお、実習助手や学習支援員等、単独で授業を行わない者（特別支援学校教諭等を除く）、学校栄養職員としての臨時的任用職員は対象外です。 また、要件について不明な点がある場合は必ずお問い合わせください。 ※ その月に任用期間が15日以上ある場合は、1月と数えます。 ※ 臨時的任用講師とは、法律等に基づき、県教育委員会、市町村教育委員会及び国立大学法人が期間を定めて臨時に任用する職員であって、公立学校及び国立大学法人に常時勤務する教員をいいます。 ※ 養護助教諭とは、法律等に基づき、県教育委員会、市町村教育委員会及び国立大学法人が期間を定めて臨時に任用する職員であって、公立学校及び国立大学法人に常時勤務する教員をいいます。 ※ 会計年度任用講師とは、法律等に基づき、県教育委員会、市町村教育委員会及び国立大学法人が期間を定めて臨時に任用する職員であって、公立学校及び国立大学法人において常時勤務することを要しない教員をいいます。 ○ 様式1と、雇用証明書（様式2）又は該当期間の辞令の写し又は委嘱状の写しを提出してください。	第一次選考試験 「教職教養」

【現職教員】 ○ 出願時、公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として勤務している者 ※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。 ○ 様式1と、雇用証明書（様式2）又は現任校の辞令の写し又は現任校在籍を証明できる身分証明書等の写しを提出してください。	第一次選考試験 「教職教養」
【他県・本県元教員】 ○ 公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭としての勤務実績が通算24月以上ある者 ○ 様式1と、雇用証明書（様式2）を提出してください。	
【英語優遇措置資格を有する者】 ○ 小学校・中学校・高等学校教諭等英語を受験する者で、実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）1級合格者など C E F R C 1 相当（文部科学省の示した C E F R 対照表による）以上取得者 ※ なお、実用英語技能検定、TOEFL及びTOEICについては、出願時に要件を満たし、かつ、第一次選考試験時に有効なものに限りします。 ○ 様式1と、該当する資格に係る合格証の写し又は認定証の写し等を提出ください。	第一次選考試験 「リスニング」
【前年度「補欠」の者】 ○ 令和4年度（令和3年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験において「補欠」と決定した者で、第一次選考試験の免除を希望する者 ※ ただし、令和4年度の採用選考試験で受験した教科（科目）等に限ります。 ○ 様式1と、上記の補欠に関する第二次選考試験結果の写しを提出してください。	第一次選考試験

※ 様式2は、「令和5年度 宮崎県 教員採用」でWeb検索し、[令和5年度（令和4年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について]にアクセスし、ダウンロードしてください。

9 第二次選考試験

(1) 期 日

令和4年8月19日（金）から8月31日（水）までのうち、指定された1日間で実施します。
詳細については、第一次選考試験合格者及び特別選考試験合格者に通知します。

(2) 試験会場（予定）

会 場	所 在 地
C 宮崎県教育研修センター	宮崎市阿波岐原町前浜4276-729
G 県庁防災庁舎	宮崎市橘通東1丁目9番18号
H 県庁7号館	宮崎市旭1丁目3-6
I 宮崎市立宮崎小学校	宮崎市旭1丁目4-1

※ 会場への連絡は原則としてできません。当日に緊急事態があり、会場への連絡を必要とする場合には、宮崎県教育庁教職員課（TEL：0985-26-7241）にお願いします。

(3) 試験内容

ア 「個人面接」、「模擬授業」、「グループワーク」、「適性検査」

(ア) 「個人面接」において、小学校教諭等（全教科、英語、特別支援、体育）の受験者には、外国語活動・外国語科で活用する簡単な英会話、中学校・高等学校教諭等英語受験者には、英会話を実施します。

(イ) 「模擬授業」の領域、単元名等については、第二次選考試験受験者へ事前にお知らせします。

(ウ) 小学校教諭等（全教科、英語、特別支援、体育）の「模擬授業」は、国語科、算数科、道徳科のいずれかで実施します。

(エ) 中学校教諭等技術、高等学校教諭等情報において、I C T 端末（パソコン、タブレット端末等）を用いた模擬授業を実施します。詳細は、第二次選考試験受験者へ事前にお知らせします。

(オ) 「グループワーク」は、I C T 等を活用し、数名のグループで協力して課題に取り組むものです。

(カ) 中学校・高等学校教諭等保健体育の受験者は、トレーニングシャツ（ゼッケン不要）を着用し、体育館シューズを持参して試験会場にお越しください。

※ 更衣室は準備しておりません。

- (キ) 第一次選考試験及び特別選考試験において第1希望と第2希望の両方に合格した小学校教諭等と中学校教諭等の併願者と、小学校教諭等と特別支援学校教諭等の併願者は、第1希望の受験区分のみで「模擬授業」を受験することとなります。また、併願者は小学校教諭等の受験者に課される「簡単な英会話」を受験することとなります。第2希望の受験区分は、第1希望の「模擬授業」と「簡単な英会話」の得点も含め合否を判定します。

イ 実技試験

以下の受験区分で実施します。

受験区分	内 容
養護教諭	救急処置等に関する実技 ※内容は当日発表

(4) 第二次選考試験の配点等

ア 評価する観点

(ア) 模擬授業・個人面接

- 教員としての適性、専門的知識・技能、授業構成力、指導方法・手立ての工夫等の実践的指導力等を総合的に評価します。
- 教職教養を含め、教育者としての使命感や意欲、幅広い社会性や人間性等を総合的に評価します。

(イ) グループワーク

- 課題に基づくグループワークを通して、コミュニケーション能力や社会性、教養の豊かさや人間性等を総合的に評価します。

(ウ) 実技試験

- 必要な専門的技能、職務遂行に必要な体力、課題解決への意欲等、実技に関する能力を総合的に評価します。

イ 配点

内 容	小学校 (英語・特別支援・ 体育を含む)	中学校		高等学校		特別支援学校 (音・美含む)	養護教諭	栄養教諭
		英語以外	英語	英語以外	英語			
模擬授業	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点
個人面接	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点
英会話	10点		10点		10点			
グループワーク	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点
実技試験							10点	
合計	100点	90点	100点	90点	100点	90点	100点	90点

(5) 第二次選考試験実施上の注意事項等

- ア 試験中は会場から外出できませんので、必要に応じて飲み物の準備をしてください。
- イ 試験時間中は、携帯電話、パソコン、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器は、試験会場内に持ち込めません。
- ウ 服装については、クールビズとします。上着、ネクタイ等を着用する必要はありません。
- エ  宮崎県教育研修センターの駐車場は利用できます。近隣の公的機関の駐車場は使用できません。送迎の場合、会場周辺での乗降は、交通渋滞のおそれがあるため避けてください。

10 特別選考試験

(1) 選考方法

- ア 書類選考を行い、その結果を6月10日（金）までに通知します。通知が届かない場合は、教職員課に連絡をしてください。
- イ 特別選考試験の書類選考結果が「合格」となった者は、第二次選考試験（一般選考試験と同じ）を受験することになります。
- ウ 特別選考試験の書類選考結果が「不合格」となった場合、第一次選考試験（一般選考試験）において、同じ受験区分、教科（科目）等を受験することができます。

(2) 特別選考試験における併願受験

- ア 併願受験は可能です。第1希望が特別選考試験の対象となります。併願受験を希望する場合は、**7 併願受験**で確認を行い、第2希望を選択してください。
- イ 中学校教諭等と小学校教諭等の併願受験、特別支援学校教諭等と小学校教諭等の併願受験を希望する場合は、第2希望の受験区分については、別途、第一次選考試験（一般選考試験）を受験してください。

(3) 申込受付期間及び提出先

- ア 申込受付期間は、一般選考試験と異なります。**4 申込受付期間**の表で、特別選考試験の出願登録期間と願書提出期間を確認してください。
- イ 併願受験を希望する場合の申込受付期間は、特別選考試験の出願登録期間、願書提出期間と同じです。第2希望まで含めて出願登録と願書提出を行ってください。
- ウ 願書提出の際には、書類選考結果通知用封筒も提出してください。詳細は、p17「(3) 出願書類の提出」を参照してください。

(4) 特別選考試験の種類

特別選考試験で必要となる様式8, 10, 11は、「令和5年度 宮崎県 教員採用」でWeb検索し、[令和5年度（令和4年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について]にアクセスし、ダウンロードしてください。

ア スポーツ分野に係る特別選考試験

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- **5 受験資格**を満たしている者
- 水泳(水球)、サッカー、テニス、ボート、バレーボール、バスケットボール、セーリング、ハンドボール、卓球、馬術、フェンシング、バドミントン、ラグビーフットボール、アーチェリー、なぎなた の分野において特に秀でた技能・実績を有する者
特に秀でた技能・実績を有する者とは、上記の競技において、大学等に在学中又は社会人として全国レベルの大会以上の競技会で優秀な成績を収めた者（指導者を含む）とします。

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、「令和5年度 技能・実績申請書（スポーツ特別選考試験・芸術特別選考試験）」（様式4）と証明書類等の提出が必要となります。

(ウ) 選考方法等

- スポーツ分野に係る特別選考試験の結果が「合格」となった者は、合格した受験区分において、第二次選考試験を受験することになります。スポーツ分野に係る特別選考試験に合格した場合は、第一次選考試験を受験できません。

(エ) その他

- スポーツ分野に係る特別選考試験に、中学校保健体育、高等学校保健体育で出願した採用候補者は、第1希望が中学校保健体育でも高等学校保健体育での採用、又は、第1希望が高等学校保健体育でも中学校保健体育での採用となる場合があります。

イ 芸術分野に係る特別選考試験

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- **5 受験資格**を満たしている者
- 芸術の分野において特に秀でた技能・実績を有する者
特に秀でた技能・実績を有する者とは、次の条件を満たす者として、
 - ・ 音楽、美術、演劇等の芸術の分野において、大学等に在学中又は社会人として、世界レベルのコンクールや全国レベルの展覧会等において優秀な成績を収めた者（指導者を含む）

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、「令和5年度 技能・実績申請書（スポーツ特別選考試験・芸術特別選考試験）」（様式4）と証明書類等の提出が必要となります。

ウ 社会人を対象とした特別選考試験A

(対象受験区分：高等学校教諭等情報・商業・工業・特別支援学校教諭等知的他)

(ア) 出願資格 (以下の要件を全て満たす者)

- **5 受験資格**を満たしている者
- 民間企業（私立学校・学習塾・予備校等を除く）・官公庁等（公立学校を除く）に正規職員として継続して5年以上（令和4年3月31日現在）の勤務経験を有する者で、その勤務経験により高等学校教諭等情報（共通教科情報）・商業・工業又は特別支援学校教諭等知的他に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者 ※ 必要に応じて、実績を証明する書類の提出を求めることがあります。

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、「令和5年度 社会人を対象とした特別選考試験申請書」(様式5)が必要となります。

エ 社会人を対象とした特別選考試験B

(対象受験区分：高等学校教諭等水産（漁業）・水産（機関）)

(ア) 出願資格 (以下の要件を全て満たす者)

- **5 受験資格** (1) (4)を満たしている者
- 高等学校教諭等水産（漁業）については、3級海技士（航海）の海技免状を所有し、本免状に基づく実務経験が3年以上（令和4年3月31日現在）ある者で、その実務経験により高等学校教諭等水産（漁業）に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者
- 高等学校教諭等水産（機関）については、3級海技士（機関）の海技免状を所有し、本免状に基づく実務経験が3年以上（令和4年3月31日現在）ある者で、その実務経験により高等学校教諭等水産（機関）に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者

※ 必要に応じて、実績を証明する書類の提出を求めることがあります。

※ 教員免許を所有せず、採用候補者として登録された場合、宮崎県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状*の授与を受ける必要があります。

* 特別免許状とは

特別免許状制度は、様々な分野において優れた知識や技能を有する社会人を学校教育に迎え入れ、学校教育の活性化を図る観点から設けられている制度である。この免許状は、都道府県教育委員会が実施する教育職員検定に合格した人に対して授与され、その都道府県においてのみ効力を有することとなっている。

この教育職員検定の実施については、教育職員免許法に次のように規定されている。

[教育職員免許法第5条第4項]

前項の教育職員検定は、次の各号のいずれにも該当する者について、教育職員に任命し、又は雇用しようとする者が、学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合において行う推薦に基づいて行うものとする。

一 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者

二 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者

上記の一、二に該当する者が特別選考によって採用内定した場合に、教育職員検定の実施に必要な任命権者としての推薦を行うこととしている。

※ 特別免許状授与申請には、検定手数料及び授与手数料が必要となります。また、必要に応じて、実績を証明する書類の提出を求めることがあります。

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、「令和5年度 社会人を対象とした特別選考試験申請書」(様式5)が必要となります。
- 高等学校教諭等水産（漁業）・（機関）の受験者は、3級海技士の海技免状の写し及び3年間の実務経験を証明するもの（雇用証明書等）を添付してください。

オ 障がいのある者を対象とした特別選考試験

(ア) 出願資格 (以下の要件を全て満たす者)

- **5 受験資格**を満たしている者
- 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれかを所有している者

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、「令和5年度 障がいのある者を対象とした特別選考試験申請書」(様式9)が必要となります。

(ウ) その他

- 障がいの種類や程度により、試験内容及び方法について配慮を行いますので、直接教職員課に相談してください。

カ 他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- **5 受験資格**を満たしている者
- 次のいずれかに該当する者

【他県現職教員】

本県以外の公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として、令和5年3月31日現在で2年以上（休職、育児休業等の期間を除く）の勤務経験のある者

※ 同じ受験区分、教科等に限る。

※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。

【他県元教員】

本県以外の公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として、令和4年3月31日現在で2年以上（休職、育児休業等の期間を除く）の勤務経験のある者

※ 同じ受験区分、教科等に限る。

※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。

【本県元教員】

本県の公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として、令和4年3月31日現在で2年以上（休職、育児休業等の期間を除く）の勤務経験のある者

※ 同じ受験区分、教科等に限る。

※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、「令和5年度 他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験申請書」（様式6）と、（様式6）に示された添付すべき必要書類である「令和5年度 他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験自己推薦書」（様式7）、「雇用証明書」（様式8）が必要となります。

(ウ) その他

- 一般選考試験を受験する場合、希望があれば第一次選考試験「教職教養」を免除します。希望する場合は、宮崎県電子申請システムでの出願登録で申請し、「令和5年度 一部試験免除による受験申請書」（様式1）を提出してください。なお、（様式1）に係る添付書類（様式2）の提出は不要です。

キ 大学卒業予定者を対象とした特別選考試験

（対象受験区分：小学校教諭等、中学校教諭等国語、高等学校教諭等工業）

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- **5 受験資格**を満たしている者
- 宮崎県教育委員会が定めた大学からの推薦を受けた者
- ※ 詳しくは、在学している大学の御担当者に確認してください。

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、大学作成の推薦書（様式10 厳封のこと）及び「令和5年度 大学卒業予定者を対象とした特別選考試験自己推薦書 兼 教職大学院修了予定者を対象とした特別選考試験自己推薦書」（様式12）が必要となります。

ク 教職大学院修了予定者を対象とした特別選考試験

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- **5 受験資格**を満たしている者
- 宮崎県教育委員会が定めた教職大学院から推薦を受けた者
- ※ 詳しくは、在学している教職大学院の御担当者に確認してください。

(イ) 提出書類等

- p17「(3) 出願書類の提出」ア(ア)に加えて、大学作成の推薦書（様式11 厳封のこと）及び「令和5年度 大学卒業予定者を対象とした特別選考試験自己推薦書 兼 教職大学院修了予定者を対象とした特別選考試験自己推薦書」（様式12）が必要となります。

11 特別支援学校教諭等音楽・美術の選考試験

(1) 選考試験

第一次選考試験は、特別支援学校教諭等の筆答試験「専門（特 知音美）」に加え、音楽・美術の実技試験を行います。

第二次選考試験は、特別支援学校教諭等知的他と同じ内容とします。

(2) 選考方法等

第一次選考試験において、特別支援学校教諭等音楽・美術の合格者にならなかった場合でも、特別支援学校教諭等知的他での第一次選考試験合格者とする場合があります。また、第二次選考試験において、特別支援学校教諭等音楽・美術の合格者にならなかった場合でも、特別支援学校教諭等知的他での合格者とする場合があります。

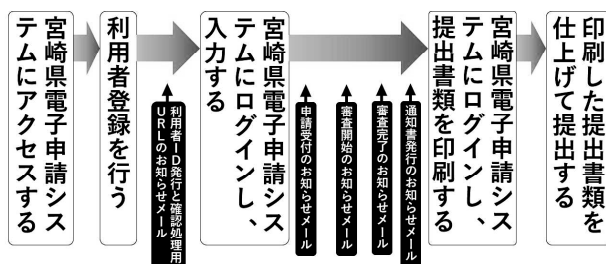
12 特別選考追加試験

- (1) 受験区分、教科（科目）等及び採用予定者数
一般選考試験の合格者数が採用予定者数を満たさない受験区分、教科（科目）等において特別選考追加試験を実施します。採用予定者数については、第二次選考試験の結果を受けて決定します。
対象は、現職教員・元教員、障がいのある者です。
- (2) 試験内容
ア 書類選考
イ 選考試験（書類選考に合格した者のみ）：詳細は特別選考追加試験実施要項に記載
- (3) 出願資格
ア 現職教員・元教員については、以下の要件を全て満たす者
(ア) **5 受験資格**を満たしている者
(イ) 令和5年度（令和4年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の一般選考試験及び特別選考試験に同じ受験区分で出願しておらず、次のいずれかに該当する者
【他県現職教員】
本県以外の公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかにおいて教諭として、令和5年3月31日現在で2年以上（休職、育児休業等の期間を除く）の勤務経験のある者
※ 同じ受験区分、教科等に限る。
※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。
【他県・本県元教員】
公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかにおいて教諭として、令和4年3月31日現在で2年以上（休職、育児休業等の期間を除く）の勤務経験のある者
※ 同じ受験区分、教科等に限る。
※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。
イ 障がいのある者については、以下の要件を全て満たす者
(ア) **5 受験資格**を満たしている者
(イ) 令和5年度（令和4年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の一般選考試験及び特別選考試験に同じ受験区分で出願していない者
(ウ) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれかを所有している者

特別選考追加試験に関する詳細な内容は変更する場合がありますので、第二次選考試験結果通知の後に公表する特別選考追加試験実施要項で確認してください。

13 出願手続等（一般選考試験、特別選考試験）

一般選考試験、特別選考試験における出願手続の概要図



(1) 出願における注意点等

ア 出願は、「宮崎県電子申請システム」で出願登録を行い、教育委員会による登録内容の審査完了後に発行される出願書類を「宮崎県電子申請システム」からダウンロードして印刷し、写真を貼るなどの仕上げを行って提出してください。

イ 出願では、連絡が取れるメールアドレス（以下「連絡用メールアドレス」）、パソコン・スマートフォン等及びA4版の用紙を印刷できるプリンタが必要です。

※ プリンタは、ダウンロードした書類を印刷する際に必要となります。プリンタを持っていない場合には、外部記憶媒体に保存するなどして別途印刷してください。

ウ 「shinsei-miyazaki@pref.miyazaki.lg.jp」及び「kyoiku-jinzaiikusei@pref.miyazaki.lg.jp」からのメールを受信できるように設定してください。

エ 外字等該当する文字を入力することができない場合は、類似した文字を入力してください。

オ 登録内容を送信する前に、よく確認をしてください。送信後、登録内容に訂正がある場合には、**17 問合せ先**まで連絡をしてください。登録の際は、複数回申し込むことがないよう御注意ください。

カ インターネットに接続する環境にない等、アの流れでの出願ができない場合は、**17 問合せ先**まで連絡をしてください。

(2) 出願の手順

別紙の出願手続案内を参考にしてください。

(3) 出願書類の提出

ア 提出書類

(ア) 第一次選考試験、特別選考試験の提出書類

- 以下の a～c の書類全て を、定型封筒（角形2号縦332mm×横240mm）に入れて郵送（簡易書留）で提出してください。封筒の表には、「返信用封筒貼付用紙」をしっかりと糊付けして提出してください。

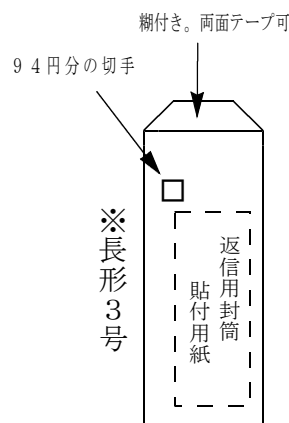
なお、提出書類の記入もれ等の不備や書類の不足のある場合は、受験を認めないことがあります。その他の提出書類については、別紙「出願時提出書類確認表」を確認してください。

a 出願時提出書類確認表

b 「受験願書」、「写真票（A）」、「写真票（B）」

c 「返信用封筒」（試験結果通知用）1通 ※ 右図参照

- ・ 94円分の切手を貼った定型封筒（長形3号縦235mm×横120mm、糊又は両面テープ付き）に受験者の住所・氏名を記載した「返信用封筒貼付用紙」を貼る。
- ・ 一次試験に実技試験がある（体育・保健体育を除く）受験区分の方は、返信用封筒1通を追加で同封してください。また、特別選考試験受験者は返信用封筒1通を追加で同封してください。両方に該当する方は、計2通を追加で同封してください。



【県ホームページ】には、「令和5年度 宮崎県 教員採用」でWeb検索し、[令和5年度（令和4年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について]にアクセスしてください。

※ 一部試験免除による受験申請をする場合

- ・ 臨時的任用講師等、現職教員、他県・本県元教員である受験者で、一部試験免除による試験を申請する場合は、上記書類に加えて、申請に必要な書類等を添付してください。

※ 加点申請を希望する場合

- ・ 上記書類に加え、申請に必要な書類等を添付してください。

(イ) 第二次選考試験の提出書類

試験当日に次の書類を必ず持参してください。

- 免許状写し（受験区分、教科（科目）等に係るもの）、更新講習修了確認証明書（有効期間更新証明書）又は取得見込証明書 ※ 有効期限を必ず確認してください。

- 改姓により提出する書類と姓が違う場合は、証明するもの(戸籍謄本等)を持参すること
- ※ 免許状の姓を必ず確認してください。
- 健康等に関するチェック票

イ 特別選考試験の提出書類

詳しくは、**10 特別選考試験**を参照してください。

(4) 出願書類の提出先

宮崎県教育庁教職員課 人材育成担当

〒880-8501 宮崎市橘通東1丁目9番10号 TEL 0985 (26) 7241

14 選考試験結果の通知

- (1) 選考試験の可否は、全員に通知します。(第一次選考試験可否については、8月2日(火)発送予定。第二次選考試験可否については、10月中旬発送予定。)
- (2) 第一次選考試験及び第二次選考試験において、不合格者全員に各試験の得点、総合得点及び総合ランク(A～C提示)をお知らせします。
- (3) 第二次選考試験合格者は「採用候補者名簿」に登載し、採用内定者として決定します。名簿の有効期限は、令和6年3月31日までです。
- (4) 採用するのにふさわしくない非違行為があった場合や受験願書等の記載事項に虚偽があった場合は、内定を取り消すことがあります。

15 補欠制度

採用内定者に欠員が出た場合等に、令和5年度(令和4年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験における第二次選考試験の不合格者のうち「補欠」と決定した者を、採用内定者とすることがあります。

また、「補欠」と決定した者で、採用内定者とならなかった場合は、申請があれば、令和6年度(令和5年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験で実施する教科(科目)等に関し、第一次選考試験を免除します。教科(科目)等によっては、採用がない場合があります。

ただし、補欠制度の適用は、令和5年度(令和4年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験で受験した受験区分、教科(科目)等と同じ場合に限り、採用内定者として採用されます。

なお、「補欠」の有無は、第二次選考試験の結果通知と併せて行い、補欠者を採用候補者名簿に登載する場合には、個別に対応します。

併願を希望する場合、「補欠」が適用されない受験区分(教科)においては、第一次選考試験において、通常の試験を受験する必要があります。

16 大学院修士課程在籍者又は進学者に対する特例

- (1) 大学院修士課程又は専門職学位課程(教職大学院)に在籍又は進学する第二次選考試験合格者の採用時の特例扱い

採用内定者が、教員としての資質及び能力の向上を目的として大学院の修学継続又は進学を希望する場合、本人の申出により、以下の要件を満たした者には「名簿登載による1年間又は2年間の採用延期」を認めます。

- (2) 1年間の採用延期の場合

- ア 受験区分に応じた普通免許状を取得している者、又は令和5年3月末日までに取得見込の者
- イ 修学継続により、令和6年3月末日までに、受験区分(教科等)の専修免許状を取得見込の者

採用延期をできる者	名簿登載有効期限
令和4年度に大学院修士課程に在籍している者	令和7年3月31日

ウ 継続希望する者は、宮崎県電子申請システムでの出願登録で希望確認があるので、「希望有り」を選択してください。第二次選考試験合格者となった場合には、「令和5年度 大学院等在籍者の特例申請書」(様式13)及び在学証明書を速やかに提出してください。提出期限は10月末とし、期限内に提出できない場合には教職員課まで連絡してください。

(3) 2年間の採用延期の場合

- ア 受験区分に応じた普通免許状を取得している者、又は令和5年3月末日までに取得見込の者
イ 修学継続により、令和7年3月末日までに、受験区分(教科等)の専修免許状を取得見込の者

採用延期をできる者	名簿登載有効期限
令和5年度に大学院修士課程に進学する者	令和8年3月31日

ウ 進学希望する者は、宮崎県電子申請システムでの出願登録で希望確認があるので、「希望有り」を選択してください。第二次選考試験合格者となり、また、大学院に進学することが決まった場合には、「令和5年度 大学院等進学者の特例申請書」(様式14)を速やかに提出してください。提出期限は10月末とし、期限内に提出できない場合には教職員課まで連絡してください。

※ 取得した専修免許状の写しは、採用される年(令和6年又は7年)の3月23日までに提出してください。

※ 延期期間終了までに大学院修士課程を修了できず、専修免許状を取得できない場合、内定を取り消すことがあります。

※ 延期期間終了までに採用するのにふさわしくない非違行為があった場合は、内定を取り消すことがあります。

17 問合せ先

宮崎県教育庁教職員課 人材育成担当

〒880-8501 宮崎市橘通東1丁目9番10号 TEL 0985 (26) 7241

宮崎県教員採用選考試験に関するLINE公式アカウントはこちら →



宮崎県教員採用選考試験に関する特設ホームページはこちら →



電子申請システムでの登録における参考資料（学校一覧）

1 高等学校等

(1) 県内国公立高校等

宮崎大宮高校 宮崎東高校 宮崎工業高校 宮崎商業高校 宮崎農業高校 宮崎南高校 宮崎海洋（宮崎水産）高校 宮崎西高校 宮崎北高校 佐土原高校 本庄高校 日南高校	日南振徳高校 （日南農林高校） （日南工業高校） （日南振徳商業高校） 福島高校 都城泉ヶ丘高校 都城農業高校 都城商業高校 都城工業高校 都城西高校 高城高校 小林高校	小林秀峰高校 （小林工業高校、小林商業高校、 高原高校、高原畜産高校） 飯野高校 妻高校 西都商業高校 高鍋高校 高鍋農業高校 都農高校 富島高校 日向工業高校 日向高校	門川（門川農業）高校 延岡高校 延岡青朋（延岡第二）高校 延岡工業高校 延岡商業高校 延岡星雲高校 （延岡東高校、延岡西高校） 高千穂高校 五ヶ瀬中等教育学校 （五ヶ瀬高校） その他の国公立学校等
---	--	--	--

(2) 県内私立高校

日向学院高校 宮崎学園（宮崎女子）高校 宮崎日大高校 宮崎第一高校	日章学園（宮崎実業）高校 鵬翔（宮崎中央）高校 日南学園高校 都城高校	都城東高校 都城聖ドミニコ学園高校 小林西高校 延岡学園高校	聖心ウルスラ（緑ヶ丘）学園高校 えびの高原国際高校 宮崎穎学館 尚学館高等部 その他の私立高校
--	--	---	---

(3) 県外公・私立高校等

福岡県 佐賀県	長崎県 熊本県	大分県 鹿児島県	沖縄県 その他の都道府県
------------	------------	-------------	-----------------

(4) その他

高等学校卒業程度認定 試験（大学検定試験）

2 短期大学・大学・その他の学校等

(1) 国立短期大学

国立短期大学	長崎県立女子短期大学 大分県立芸術文化短期大学	鹿児島県立短期大学 その他の公立短期大学	
--------	----------------------------	-------------------------	--

(3) 私立短期大学

東京女子体育短期大学 湊川短期大学 京都女子大短期大学部 九州女子短期大学 純真短期大学 西南女学院大短期大学部	筑紫女学園大短期大学部 福岡女子短期大学 精華女子短期大学 東筑紫短期大学 佐賀女子短期大学 活水女子短期大学	長崎外国語短期大学 九州女学院短期大学 熊本音楽短期大学 別府溝部学園短期大学 別府大短期大学部 東九州短期大学 日向学院短期大学	南九州短期大学 聖心ウルスラ学園短期大学 宮崎学園（宮崎女子）短期大学 鹿児島女子短期大学 鹿児島国際大学短期大学部 鹿児島純心女子短期大学 その他の私立短期大学
---	--	---	---

(4) 国立大学

北海道教育大学 弘前大学 岩手大学 宮城教育大学 秋田大学 山形大学 福島大学 茨城大学 筑波大学 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 千葉大学 東京学芸大学	横浜国立大学 新潟大学 上越教育大学 富山大学 金沢大学 福井大学 山梨大学 信州大学 岐阜大学 静岡大学 愛知教育大学 三重大学 滋賀大学 京都教育大学	大阪外国語大学 大阪教育大学 兵庫教育大学 奈良教育大学 奈良女子大学 和歌山大学 鳥取大学 島根大学 岡山大学 広島大学 山口大学 鳴門教育大学 香川大学 愛媛大学	高知大学 福岡教育大学 九州大学 佐賀大学 長崎大学 熊本大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学 鹿屋体育大学 琉球大学 その他の国立大学
--	--	--	---

(5) 公立大学

都留文科大学 尾道市立大学 県立広島大学	高知県立大学 北九州市立大学 福岡女子大学	長崎県立大学 熊本県立大学 宮崎公立大学	その他の公立大学
----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------

(6) 私立大学

東北福祉大学 文教大学 淑徳大学 聖徳大学 千葉商科大学 青山学院大学 大妻女子大学 国立音楽大学 慶応義塾大学 國學院大学 国士舘大学 駒澤大学 実践女子大学 順天堂大学 創価大学 大東文化大学 玉川大学 中央大学 帝京大学 東海大学 東京家政大学 東京女子大学 東京女子体育大学 東京農業大学 東京理科大学 東洋大学	二松学舎大学 日本大学 日本体育大学 法政大学 武蔵野音楽大学 明治大学 明治学院大学 明星大学 立正大学 和光大学 早稲田大学 中京大学 常葉大学 名古屋外国語大学 日本福祉大学 京都女子大学 同志社大学 佛教大学 立命館大学 大阪大谷大学 大阪芸術大学 大阪体育大学 近畿大学 関西国際大学 関西学院大学 武庫川女子大学	神戸女子大学 岡山理科大学 環太平洋大学 くらしき作陽大学 ノートルダム清心女子大学 エリザベト音楽大学 広島文教大学 東亜大学 梅光学院大学 九州女子大学 九州共立大学 九州国際大学 九州産業大学 久留米大学 久留米工業大学 筑紫女学園大学 西南学院大学 日本経済大学 中村学園大学 福岡大学 西日本工業大学 福岡工業大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学 西南女学院大学 九州ルーテル学院大学	日本文理大学 別府大学 活水女子大学 長崎総合科学大学 長崎国際大学 九州東海大学 崇城大学 熊本学園大学 平成音楽大学 尚絅大学 西九州大学 宮崎産業経営大学 宮崎国際大学 南九州大学 九州保健福祉大学 鹿児島国際大学 志学館大学 第一工科大学 鹿児島純心女子大学 沖縄大学 その他の私立大学
---	---	---	---

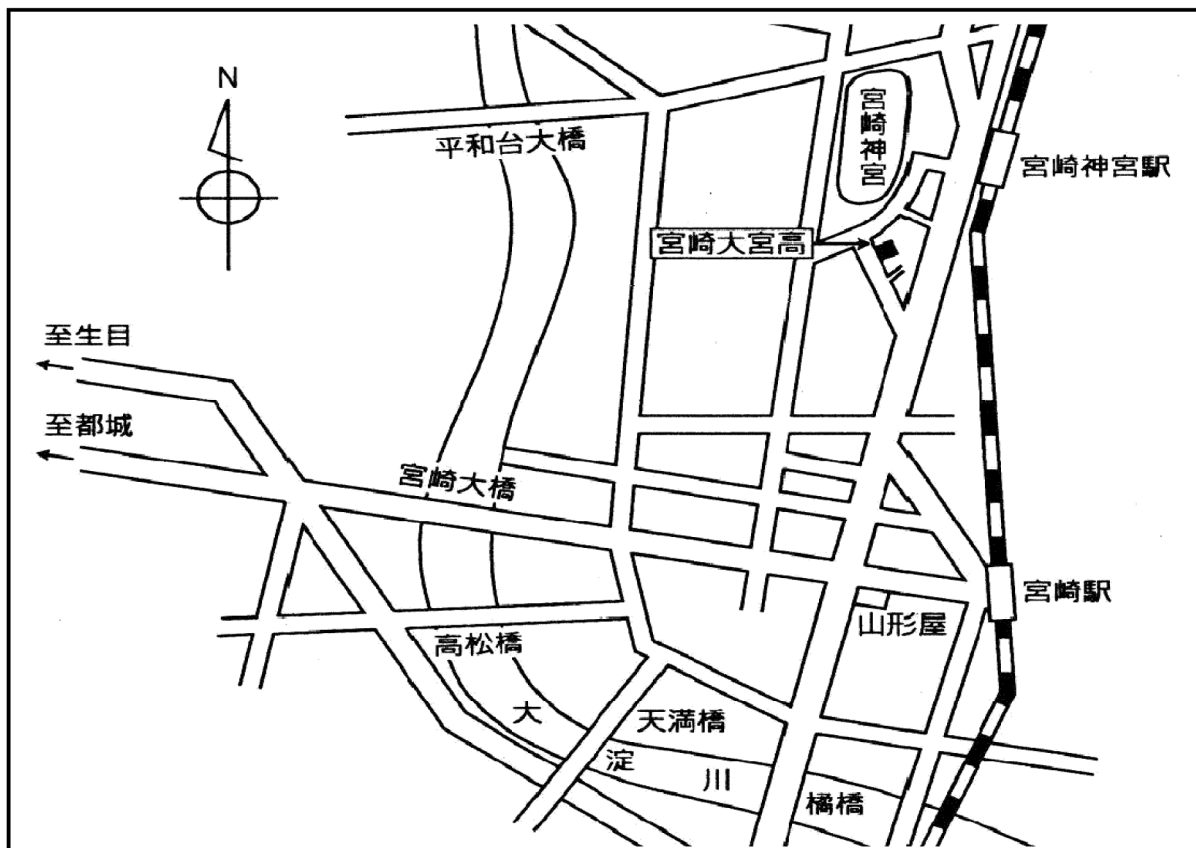
(7) 大学・短期大学以外の学校

ア 教員養成所		イ 養護教諭養成所	ウ その他の学校
公立教員養成所	国立養護教諭養成所	その他の学校	
私立教員養成所	公立養護教諭養成所		
	私立養護教諭養成所		

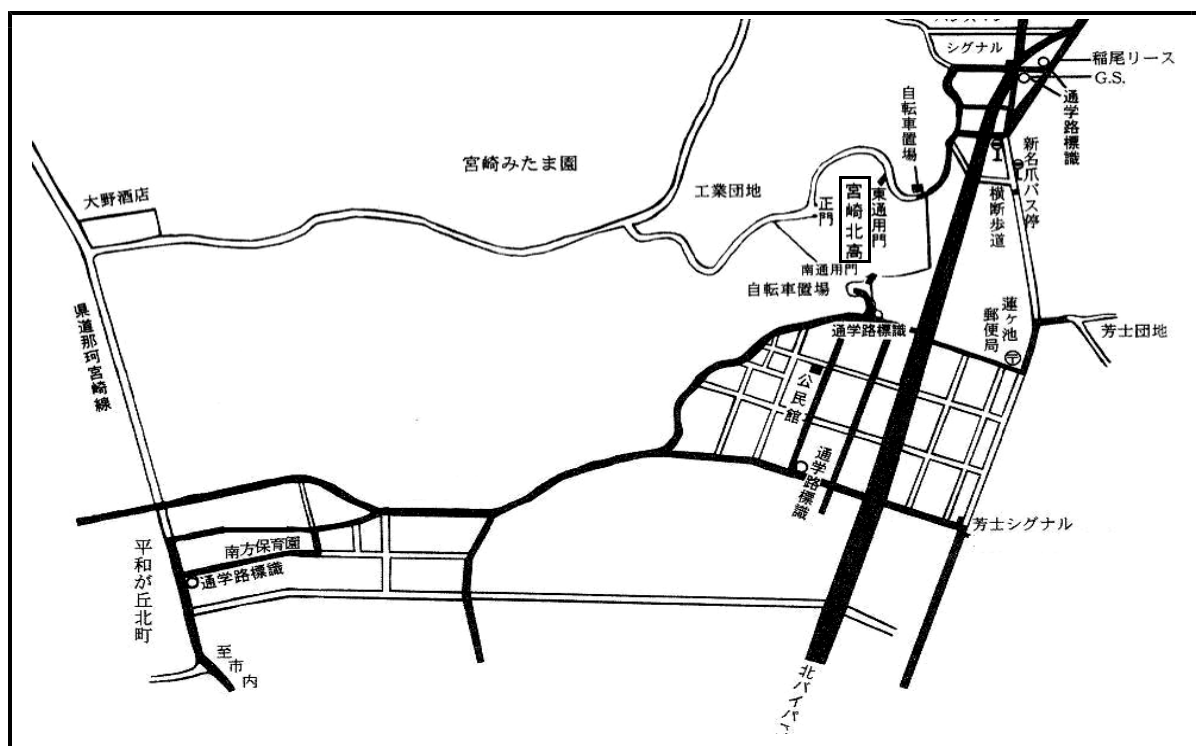
第一次選考試験会場案内図

【宮崎会場】

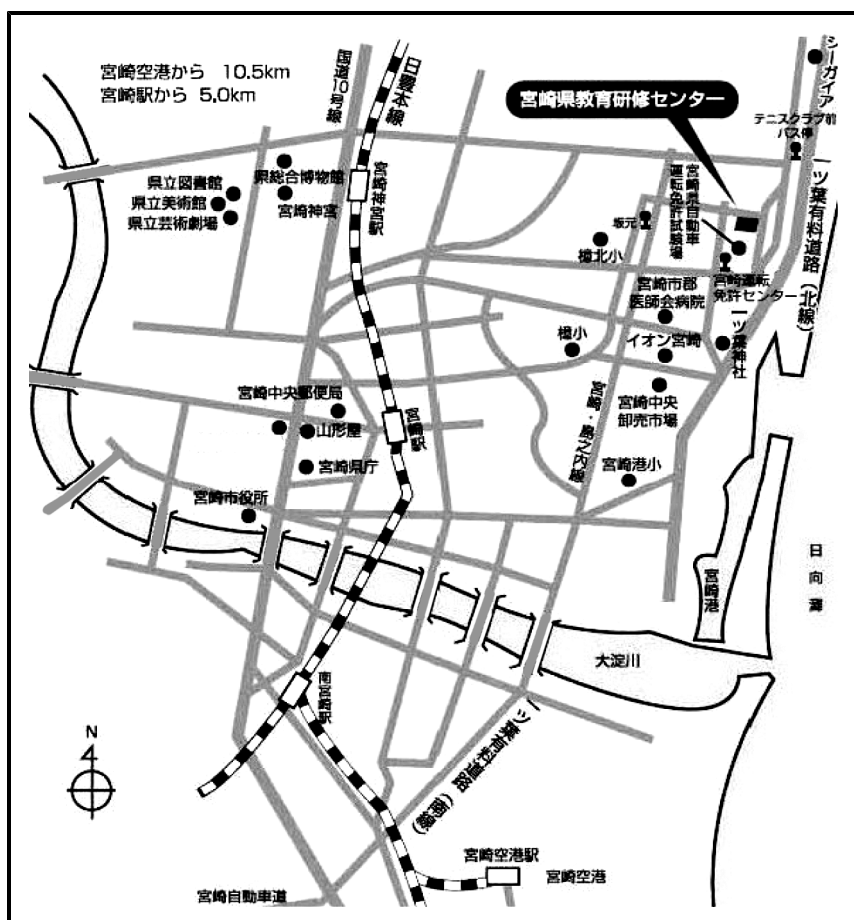
A会場：宮崎大宮高等学校（宮崎交通バス 大宮高校前バス停下車徒歩1分）



B会場：宮崎北高等学校（宮崎交通バス 新名爪バス停下車徒歩5分）

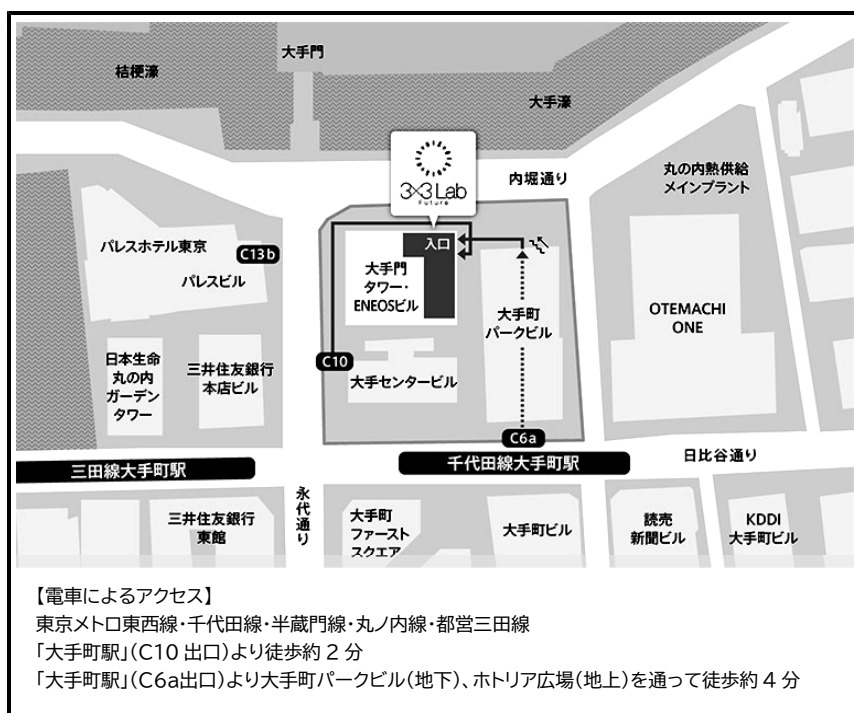


- C**会場：宮崎県教育研修センター
 （宮崎交通バス 宮崎運転免許センターバス停下車徒歩2分）

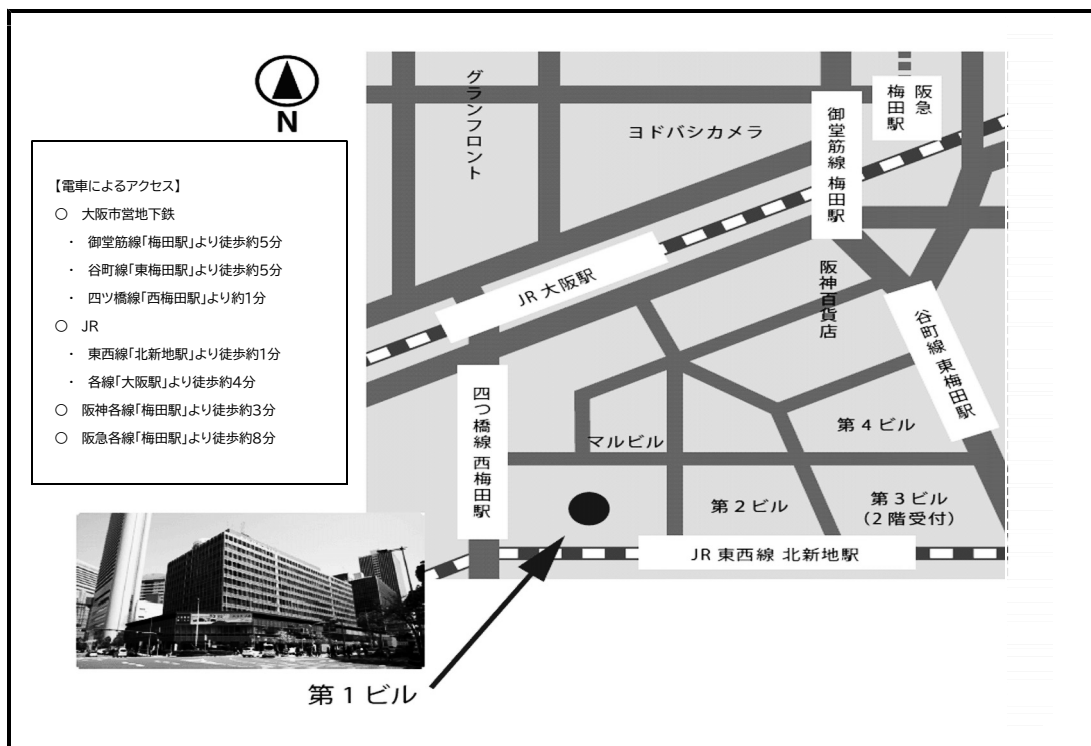


【県外会場】

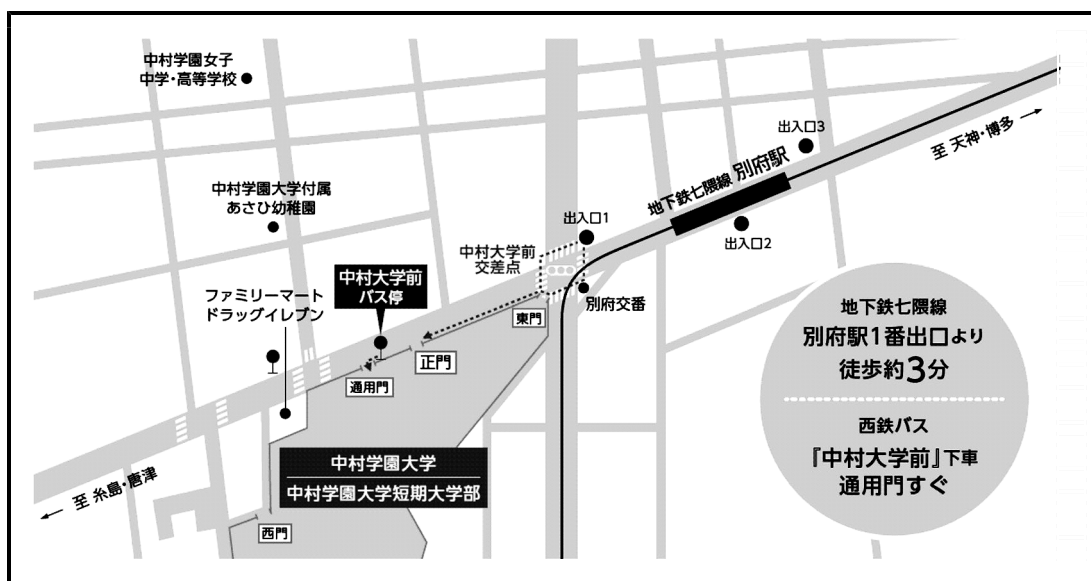
- D**会場（東京会場）：「3×3 Lab Future」さんさんらぼフューチャー
 （大手門タワー・ENEOSビル1階）



E会場（大阪会場）：大阪駅前第1ビル（11階）



F会場（福岡会場）：中村学園大学



※ 試験会場や近隣の公的機関の駐車場は使用できません。公共の交通機関を利用してください。

送迎の場合、会場周辺での乗降は、交通渋滞のおそれがあるため避けてください。

※ 送迎目的で商業施設等の駐車場を使用することがないようにしてください。

※ 会場周辺の無断駐車について

本県では、「社会人としての幅広い教養と良識や倫理観、心の豊かさを身に付けている教員」を求めています。無断駐車等をした者は、受験を認めないことがあります。

「願書提出」時に必要となる書類一覧

○これは、「願書提出」時に必要な書類一覧です。

○書類は、「出願登録」内容に基づき宮崎県電子申請システムで配信される書類と、県ＨＰ「令和５年度（令和４年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について」からダウンロードする書類があります。

○書類を提出する際は、「仕上」を行う必要があります。

○詳しくは、県ＨＰ「令和５年度（令和４年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について」を御覧ください。

１ 全ての受験者が提出する必要がある書類

提出書類名	仕上の内容
出願時提出書類確認表	氏名の記入が必要です。
受験願書	証明写真の貼付が必要です。
	日付、氏名の記入が必要です。
	「宮崎県の教員を志望した理由」の記入が必要です。
	「特筆したい活動歴と実績」の記入が必要です。
	「特技・趣味・資格・研究記録（卒論・ゼミ等を含む）等を生かして取り組みたい教育活動」の記入が必要です。
	「ICTを活用して取り組みたい教育活動」の記入が必要です。
	「受験上、配慮すべきこと」の記入が必要です。 ※特に必要ない場合は「特になし」と記入してください。
	両面印刷したものを提出してください。
写真票(A)	証明写真の貼付が必要です。
写真票(B)	証明写真の貼付が必要です。
返信用封筒	長形３号の封筒を用意してください。
	９４円分の切手が必要です。
	特別選考試験を受験する場合及び実技試験（保健体育除く）がある受験区分を受験する場合は、複数の封筒が必要です。

※受験票、健康等に関するチェック票（１日目、２日目）は同封せず、試験当日に持参してください。

２ 一部試験免除による受験申請者が提出する必要がある書類

提出書類名	仕上の内容
一部試験免除による受験申請書 (様式１)	日付、氏名の記入が必要です。
	証明書類の添付が必要です。 ※必要な書類は様式１に記載しています。

○雇用証明書(様式２)を添付する場合

提出書類名	仕上の内容
雇用証明書(様式２)	住所、氏名、受験番号、特別選考種別の記入が必要です。

３ 加点申請者が提出する必要がある書類

提出書類名	仕上の内容
特定免許・資格等を所有する者の加点 申請書(様式３)	日付、氏名の記入が必要です。
	証明書類の添付が必要です。 ※必要な添付書類は様式３に記載しています。

※裏面もあります。

4 特別選考試験申請者が提出する必要がある書類

○スポーツ分野に係る特別選考試験、または、芸術の分野に係る特別選考試験を受験する場合

提出書類名	仕上の内容
技能・実績申請書(様式4)	日付、氏名の記入が必要です。
	実績を証明する書類の添付が必要です。

○社会人を対象とした特別選考試験A、Bを受験する場合

提出書類名	仕上の内容
社会人を対象とした特別選考試験申請書(様式5)	日付、氏名の記入が必要です。
	これまでの勤務や活動実績について記入が必要です。

○他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験を受験する場合

提出書類名	仕上の内容
他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験申請書(様式6)	日付、氏名の記入が必要です。
	他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験自己推薦書(様式7)、雇用証明(様式8)の添付が必要です。
他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験自己推薦書(様式7)	日付、氏名の記入が必要です。
	自己推薦の記入が必要です。
雇用証明書(様式8)	住所、氏名、受験番号、特別選考種別の記入が必要です。

○障がいのある者を対象とした特別選考試験を受験する場合

提出書類名	仕上の内容
障がいのある者を対象とした特別選考試験申請書(様式9)	日付、氏名の記入が必要です。
	身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(写し)の貼付が必要です。
	受験に際し、配慮してほしいことの記入が必要です。 ※特にない場合「特になし」と記入してください。

○大学卒業予定者を対象とした特別選考試験、または、教職大学院修了予定者を対象とした特別選考試験を受験する場合

提出書類名	仕上の内容
大学卒業予定者を対象とした特別選考試験自己推薦書兼教職大学院修了予定者を対象とした特別選考試験自己推薦書(様式12)	自己推薦の記入が必要です。
	推薦書(大学卒業予定者は様式10、教職大学院修了予定者は様式11)の添付が必要です。※厳封

宮崎県公立学校教員採用選考試験出願手続案内

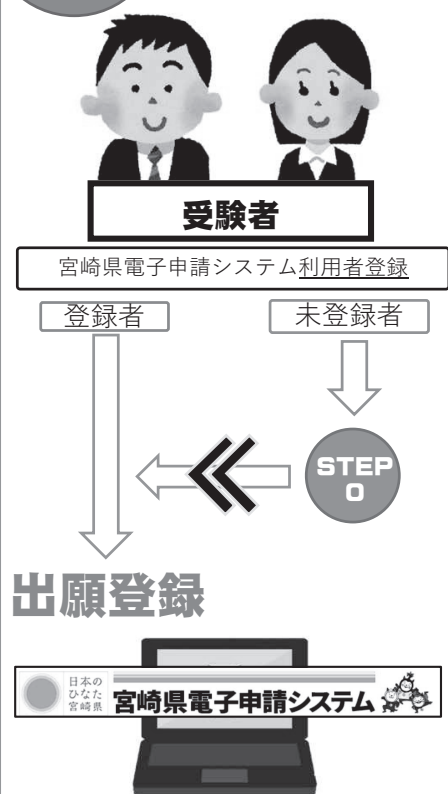
STEP 0

宮崎県電子申請システムの利用者登録が必要です。

宮崎県公立学校教員採用選考試験の出願手続では、宮崎県電子申請システムを利用します。
宮崎県電子申請システムの利用者登録が未登録の方は、特別選考試験または一般選考試験の出願登録手続を行う際、登録が必要になります。（詳しくは、説明動画を御覧ください。）
システムの利用者登録を出願登録と間違われないう御注意ください。

STEP 1

宮崎県電子申請システムにある、手続で出願登録を行います。



アクセス方法

県HP「令和5年度(令和4年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について」に手続ページのリンク設定をしています。
アクセスは「令和5年度宮崎県教員採用」で検索してください。

令和5年度 宮崎県 教員採用

検索

県HP



手続名

特別選考試験

【特別選考試験用】令和5年度(令和4年度実施)
宮崎県公立学校教員採用選考試験出願登録及び出願書類作成

一般選考試験

【一般選考試験用】令和5年度(令和4年度実施)
宮崎県公立学校教員採用選考試験出願登録及び出願書類作成

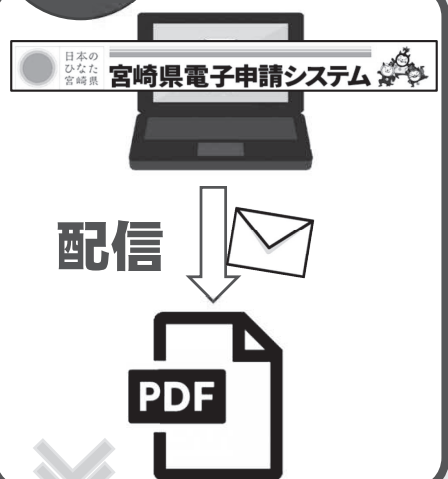
手続には、宮崎県電子申請システムの利用者登録が必要です。
登録した際の利用者ID・パスワードは忘れないよう御注意ください。

手続期間

特別選考試験 令和4年3月22日～令和4年4月21日 正午
一般選考試験 令和4年3月22日～令和4年5月9日 正午

STEP 2

宮崎県電子申請システムで、願書等の書類データが配信されます。



書類データ配信時期

特別選考試験 令和4年4月28日までに配信します。

一般選考試験 令和4年5月13日までに配信します。

※1 書類データが配信された際、宮崎県電子申請システムに登録したメールアドレスに、件名が【電子申請】通知書発行のお知らせのメールが届きます。

※2 書類データはPDFで配信されます。

※3 様式2、様式8、様式10、様式11は、宮崎県電子申請システムで配信する書類データに含まれません。別途、県HP教員採用案内ページからダウンロードしてください。また、各種証明書類はご自身で用意していただく必要があります。

裏面へ続きます。

STEP 3

書類データを印刷し、「仕上」を行い郵送により願書提出を行います。



印刷



郵送



願書提出期間

特別選考試験 令和4年4月28日 ～ 令和4年5月13日

一般選考試験 令和4年5月13日 ～ 令和4年5月23日

※ 簡易書留で提出してください。提出期限日の消印有効です。

「仕上」

印刷した書類は、「仕上」が必要です。

「仕上」とは、

- ・ 受験願書や写真票に証明写真を貼付する
- ・ 自署が必要な書類には、日付、自署を記入する
- ・ 志望理由や自己PRを書き込む などです。

※ 志望理由や自己PRに関する記述は、宮崎県電子申請システムによる出願登録時に入力することもできます。



詳しくは、説明動画をご覧ください。
説明動画は、県HPからご覧いただけます。

県HP



注意事項

宮崎県電子申請システムによる出願登録の際、登録完了後、「入力を間違った」などの理由により、登録内容を修正するために複数回登録しないでください。

登録完了後に修正が必要な場合は、必ず教職員課に連絡し、対応方法を確認のうえ、指示に従い対応してください。



宮崎県教育庁教職員課 人材育成担当 電話 0985-26-7241

採用選考試験専用の問合せフォームもございますので、こちらもお活用ください。 問合せフォーム



南那珂、西諸県、東・西臼杵エリア内異動を希望する
小・中学校教諭等及び養護教諭・栄養教諭は、
採用時から エリア内異動の対象者として考慮します。

- 採用時からの南那珂、西諸県、東・西臼杵エリア内異動希望者はその後、そのエリア内での異動が可能となります。

例えば、東・西臼杵エリア内異動を希望した場合、初任校が日向市、2・3校目が延岡市、4・5校目が門川町のように、希望エリア内での異動が可能です。

- ただし、職員の構成等により隣接する地区（東・西臼杵エリアの場合は児湯地区）への異動になる場合や希望どおりに配置されない場合もあります。
- 「採用時からのエリア内異動」の希望については、その後の状況により変更も可能です。



対象エリア

【南那珂エリア】

日南市、串間市

【西諸県エリア】

小林市、えびの市、高原町

【東・西臼杵エリア】

延岡市、日向市、門川町

諸塚村、椎葉村、美郷町

高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町